

ご利用ガイド

レジ設定ツール

TE-2500/3500、TK-2500 用
TE-5500、TK-5500 用



1. レジ設定ツールの主な仕様

2. セットアップ

3. 設定



CXD NEXT
CASIO®

1. レジ設定ツールの主な仕様	4
2. セットアップ	5
2.1 動作環境	5
2.1.1 パソコン側	5
2.2 レジ設定ツールのインストール方法	5
2.3 レジ設定ツールの起動	5
3. 設定	6
3.1 <レジ設定ツール>	6
3.1.1 <部門>	7
3.1.1.1 部門一覧	7
3.1.1.2 部門設定	7
3.1.2 <PLU>	8
3.1.2.1 PLU 一覧	8
3.1.2.2 PLU 設定	8
3.1.3 <スキャンング PLU>	9
3.1.3.1 スキャンング PLU 一覧	9
3.1.3.2 スキャンング PLU 設定	10
3.1.4 <時間帯別アイテム設定>	11
3.1.5 <グループ>	13
3.1.5.1 グループ一覧	13
3.1.5.2 グループ設定	13
3.1.6 <レシート / ジャーナル>	14
3.1.7 <レシート / メッセージ>	15
3.1.7.1 ロゴ / コマーシャル / ボトム	15
3.1.7.2 クーポン券	16
3.1.7.3 変更メッセージ	16
3.1.8 <領収書>	17
3.1.9 <点検 / 精算レポート>	18
3.1.9.1 印字・集計	18
3.1.9.2 一括 X / Z	18
3.1.9.3 一括 X / Z 設定	19
3.1.10 <レジ担当者>	20
3.1.10.1 担当者一覧	20
3.1.10.2 各担当者	20
3.1.11 <客層>	21
3.1.11.1 客層一覧	21
3.1.11.2 各客層	21
3.1.12 <全体設定>	22
3.1.13 <オンライン>	22
3.1.14 <取引キー>	23
3.1.14.1 取引キー一覧	23
3.1.14.2 各取引キーが持つ設定	23
3.1.14.3 現金、貸、券	25
3.1.14.4 信 (クレジット、iD)	26
3.1.14.5 仮締め	26

3.1.14.6	キャラクタプリント	26
3.1.14.7	万円	27
3.1.14.8	入金、出金、釣銭準備、回収	27
3.1.14.9	プラス	27
3.1.14.10	マイナス	28
3.1.14.11	%-、%+	28
3.1.14.12	訂正 / 中止、取引中止	29
3.1.14.13	後レシート	29
3.1.14.14	#、#/替	29
3.1.14.15	客数	30
3.1.14.16	アレンジ	30
3.1.14.17	通貨変換	30
3.1.14.18	桁解除	31
3.1.14.19	設定解除	31
3.1.14.20	登録確認	31
3.1.14.21	小計	32
3.1.14.22	税抜小計	32
3.1.14.23	X	32
3.1.14.24	X/FOR	33
3.1.14.25	割勘	33
3.1.14.26	出退勤	33
3.1.14.27	客層	34
3.1.14.28	取引中止	34
3.1.14.29	面切替	34
3.1.15	<税テーブル>	35
3.1.16	<税予約テーブル>	36
3.1.17	<シート印刷>	37
3.1.17.1	タッチキーシートの呼び出し	37
3.1.17.2	タッチキーシートの編集	38
3.1.17.3	タッチキーシートの名称変更	39
3.1.17.4	タッチキーシートの印刷	39
3.2	<ファイル>	40
3.2.1	<新規作成>	40
3.2.2	<名前を付けて保存>	41
3.2.3	<開く>	42
3.2.4	<上書き保存>	42
3.2.5	<CSV 取込み>	43
3.2.6	<CSV 書出し>	46

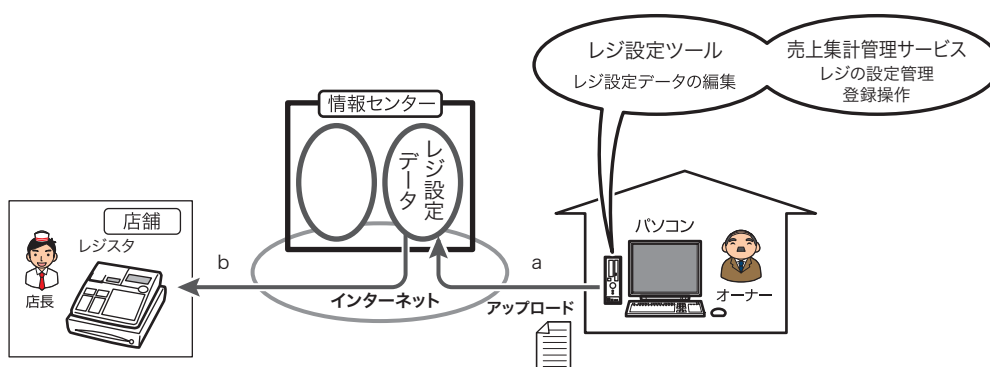
1. レジ設定ツールの主な仕様

情報センターからダウンロードされたレジスタの設定データを、パソコン上で編集するためのソフトウェアです。

- ・ レジスタの設定データを、パソコン上で編集します。
- ・ タッチキーに装着するシートを印刷します。
- ・ レジ設定ツールは、「売上集計管理サービス」のストアページにある、「レジの設定管理」からダウンロード可能です。

PC で変更されたレジスタ設定データは、ストアページの「レジの設定管理」画面の登録操作で情報センターにアップロードされます（下図a参照）。

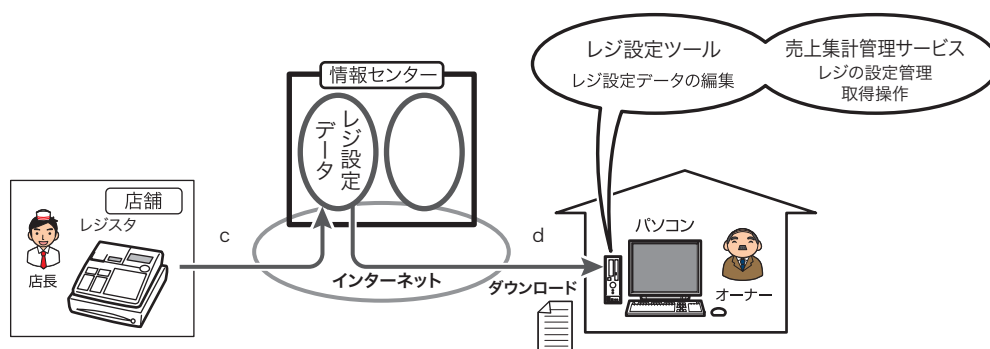
アップロードされたレジスタ設定データは、レジスタの開設操作でレジスタにダウンロードされ、設定変更されます（下図b参照）。



レジスタの設定データを変更した場合は、レジスタの設定データを情報センター経由でPC に送信することができます。設定データをレジスタから情報センターに送信するには、0092 <接続>パスワード<接続>と操作します（下図c参照）。

それを情報センターからPC にダウンロードするには、ストアページの「レジの設定管理」画面の取得操作で行います（下図d参照）。

詳細に関しては、「売上集計管理サービス ご利用ガイド」をご参照ください。



2. セットアップ

2.1 動作環境

2.1.1 パソコン側

OS: Microsoft® Windows® XP / 2000 / Vista

注意!

文字コードセットに関する注意:

レジ設定ツールは、Windows のマルチバイト文字セット(MBCS ANSI-932) で動作します。ワイド文字セット(Unicode)、および外字文字セットには対応していません。Windows のマルチバイト文字セット(MBCS ANSI-932) 以外の文字セットが入力された場合は、動作を保証しません。

ファイルパスに関する注意:

レジ設定ツールでは、最大255 バイトまでのファイルパスを処理することができます。255 バイトを超えるファイルパスが入力された場合、動作を保証しません。

ハードウェア: IBM PC/AT 互換機

CPU Pentium® 4 以上

RAM 256MB 以上 (Windows® Vista は512MB 以上)

ハードディスク空き容量 1GB 以上

ディスプレイ XGA (1024 x 768 ドット), High Color (16 ビット) 以上

マウスまたは、それに類するポインティングデバイス

インターネットブラウザが動作し、インターネットに接続可能なパソコンをご使用ください。

2.2 レジ設定ツールのインストール方法

「売上集計管理サービス」のWeb 画面からインストーラファイルをダウンロードします。

ダイアログに従い、パソコン上で実行するとインストールされます。

2.3 レジ設定ツールの起動

レジ設定ツールを起動するには、[スタート]→[すべてのプログラム]→[CASIO レジ設定ツール]→[レジ設定ツール Ver.2.0]を選択します。



- ・ 設定データファイルを指定して起動した場合は、ファイルが開かれた状態でメインメニューが表示されます。
- ・ 起動時に設定ファイルを指定していない場合は、ファイルを開く画面が表示されます。設定データファイルを選択して[開く]をクリックすると、メインメニューが表示されます。
- ・ 設定データファイルを指定せずに起動する場合は一旦[キャンセル]を押してから[新規作成] ボタンをクリックして、レジスタの機種を設定してください。[OK] をクリックすると、メインメニューが表示されます。
- ・ 「ヘルプ」を画面に表示するには、Adobe Reader が必要です。

3. 設定

3.1 <レジ設定ツール>

インターネット上の情報センターからダウンロードされた、レジスタの設定ファイルを編集します。
レジスタの設定ファイルをダウンロードする方法は「売上集計管理サービス ご利用ガイド」をご参照ください。
設定は以下の6種類に分けられます。

- 商品設定** 商品名や単価などを設定します。
印字設定 レシートや領収書、レポートなどの印字に関する設定をします。
その他設定 担当者の名前や担当者番号を設定します。
基本設定 レジスタの基本的な動作や、取引キーの機能を設定します。
税金設定 税制が改定された場合の税率の変更や、税金関係の印字の設定をします。
タッチキー タッチキーシートの名称変更や、印刷の設定をします。

○ 各設定項目のアイコンは次ページ以降で説明します。それぞれのアイコンをダブルクリックすると、それぞれの設定編集画面が開きます。



- <開く>** 情報センターからダウンロードされた、設定データファイルを開きます。
- <新規作成>** レジスタの機種を指定し、新しく設定データファイルを作成します。
- <上書き保存>** 変更を行った設定データファイルを、ファイル名を変更することなく保存します。
- <名前を付けて保存>** 設定データファイルに名前を付けてパソコン内に保存します。ファイル種別で部分PLU 設定データを保存することも可能です。(部分PLU 設定データは設定ツールでは使用できません)
- [CSV 取込み]** CSV 形式の設定データをパソコン内部に取り込みます。
- [CSV 書出し]** パソコン内部の設定データをCSV 形式で書き出します。
- [終了]** 設定の編集結果をパソコン内に保存してレジ設定ツールを終了します。
- [ヘルプ]** 「レジ設定ツール ご利用ガイド」のPDF がご覧になれます。
- 注意!** レジスタの設定内容とパソコン内部の設定データとの矛盾を回避するため、パソコンでレジスタの設定をする場合、最初に情報センターから設定データをダウンロードし、それを編集することをお勧めします。
- 注意!** 旧モデルのファイルから変換されるファイルは、部門、PLU、スキャニングPLU、グループ、レジ担当者の「担当者別設定を有効にする」設定、および全体設定の「PLU 開始番号」設定です。
- 注意!** 横倍文字は以下の方法で設定します。全角文字を横倍にする場合 :横倍にする文字を半角のアンダーバーで挟む (例:音B P号 → _部__門_)。半角文字を横倍にする場合 :横倍にする文字の前に半角のアンダーバーを付ける (例:PLU → _P_L_U)

3.1.1 <部門>

◆ 3.1.1.1 部門一覧

<部門>をクリックすると、部門の設定内容一覧を示します。

目的の部門をダブルクリックすると、その部門の設定画面 (3.1.1.2 部門設定の画面) を開きます。

メモNo.	名称	単価	課税方式	最大桁制限	現金単品売り	マイナス単価	グループリンク
00001	部門01	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00002	部門02	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00003	部門03	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00004	部門04	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00005	部門05	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00006	部門06	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00007	部門07	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00008	部門08	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00009	部門09	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00010	部門10	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00011	部門11	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00012	部門12	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00013	部門13	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00014	部門14	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00015	部門15	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00016	部門16	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00017	部門17	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00018	部門18	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00019	部門19	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00020	部門20	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00021	部門21	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00022	部門22	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00023	部門23	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00024	部門24	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00025	部門25	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00026	部門26	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク
00027	部門27	税	税テーブル1	無し	はい	はい	ノンリンク

【印刷】 部門の一覧を印刷します。

開始メモリ番号と終了メモリ番号を入力して、印刷範囲を指定することもできます。

【検索】 検索ウィンドウが開きます。メモリ番号や名称で検索が可能です。

【変更】 目的の部門の行を指定して **【変更】** をクリックすると、その部門の設定画面を開きます。

【戻る】 前の画面に戻ります。

◆ 3.1.1.2 部門設定

部門名や単価などを設定します。

名称 半角20文字 (全角10文字) 以内

※1 営業日の途中で名称を変更するとその日の集計データは、変更前の名称での売上も変更後の名称の売上として売上集計されます。

単価 6桁以内

課税方式 消費税計算に使用する税テーブルを指定します。(<税テーブル> の項目を参照してください)

最大桁制限 数字の打ち間違えを防ぐため、設定した桁数より大きい単価を入力して登録することを禁じます。

現金単品売り 金券発行など、その部門を登録しただけでレシートを発行し、取引を終了するために単品現金売りの設定をします。

マイナス単価 定額のクーポン券などの登録のため、登録金額が常に負で処理されます。この設定をすると、通常の商品登録には使えません。

グループリンク グループリンク先一覧から、この部門が集計される商品分類 (グループ) を指定します。

設定

メモNo. 00001

名称 部門01

単価 0 円

課税方式 税テーブル1 税テーブル2 非課税
税テーブル1: 内税5%

最大桁制限 無し

現金単品売り はい いいえ

マイナス単価 はい いいえ

グループリンク ノンリンク

ヘルプ 初期値設定に戻す 確定 キャンセル

- 【初期設定に戻す】** この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
- 【確定】** この画面の中で行なった設定内容を有効にして、前の画面に戻ります。
- 【キャンセル】** この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

3.1.2 < PLU >

◆ 3.1.2.1 PLU 一覧

<PLU> をクリックすると、PLU の設定内容一覧を示します。

目的のPLU の行をダブルクリックすると、そのPLU の設定画面 (3.1.2.2 PLU 設定の画面) を開きます。

メモNo.	名称	単価	課税方式	品番PLU	最大桁制限	現金単品売り	マイナス単価	ゼロ単価
00001	PLU00001	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00002	PLU00002	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00003	PLU00003	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00004	PLU00004	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00005	PLU00005	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00006	PLU00006	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00007	PLU00007	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00008	PLU00008	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00009	PLU00009	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00010	PLU00010	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00011	PLU00011	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00012	PLU00012	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00013	PLU00013	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00014	PLU00014	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00015	PLU00015	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00016	PLU00016	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00017	PLU00017	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00018	PLU00018	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00019	PLU00019	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00020	PLU00020	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00021	PLU00021	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00022	PLU00022	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00023	PLU00023	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00024	PLU00024	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00025	PLU00025	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ
00026	PLU00026	¥0	税テーブル	いいえ	無し	いいえ	いいえ	いいえ

PLU最大登録数: 300 (この値は、「全体設定」画面の「スキニングPLU開始メモリNo.」で変更できます)

時間帯別アイテム選択(スキニングPLUと共通)

ヘルプ 印刷 検索 変更 戻る

- 【印刷】** PLU の一覧を印刷します。
開始メモリ番号と終了メモリ番号を入力して、印刷範囲を指定することもできます。
- 【検索】** 検索ウィンドウが開きます。メモリ番号や名称で検索が可能です。
- 【時間帯別アイテム選択】** 時間帯別アイテムウィンドウが開きます。
※ 売上集計管理サービスEX 加入時に利用します。
- 【変更】** 目的のPLU の行を指定して **【変更】** をクリックと、そのPLU の設定画面を開きます。
- 【戻る】** 前の画面に戻ります。

◆ 3.1.2.2 PLU 設定

商品名や単価などを設定します。

- 名称** 半角20 文字 (全角10 文字) 以内
※1 営業日の途中で名称を変更するとその日の集計データは、変更前の名称での売上も変更後の名称の売上として売上集計されます。
- 単価** 6桁以内
- 課税方式** 消費税計算に使用する税テーブルを指定します。(<税テーブル> の項目を参照してください)
- 品番PLU** 「品番PLU」は単価が変わることがある商品をPLU に指定する場合に使用します。品番PLU は通常のPLU と異なり、PLU 番号を指定しただけでは登録されず、単価を入れて「金額」キーを押すことで登録されます。
- 最大桁制限** 数字の打ち間違えを防ぐため、設定した桁数より大きい単価を入力して登録することを禁じます。
- 現金単品売り** 金券発行など、そのPLU を登録しただけでレシートを発行し、取引を終了するために単品現金売りの設定をします。
- マイナス単価** 定額のクーポン券などの登録のため、登録金額が常に負で処理されます。この設定をすると、通常の商品登録には使えません。
- ゼロ単価** サービス商品などの登録のため、0円で登録されます。
- 部門リンク** 部門リンク先一覧から、このPLU (商品) が集計される商品分類 (部門) を指定します。
- グループリンク** グループリンク先一覧から、このPLU (商品) が集計される商品分類 (グループ) を指定します。

PLU設定画面のスクリーンショット。設定項目は以下の通りです。

- メモリNo: 00001
- 名称: PLU00001
- 部門リンク: 部門99
- 単価: 0 円
- グループリンク: ノリンク
- 課税方式: 税テーブル1 (内税5%)
- 品番PLU: はい
- 最大桁制限: 無し
- 現金単品売り: はい
- マイナス単価: はい
- ゼロ単価: はい

ボタン: ヘルプ、初期設定に戻す、確定、キャンセル

[初期設定に戻す] この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。

[確定] この画面の中で行なった設定内容を有効にして、前の画面に戻ります。

[キャンセル] この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

注意!

※売上集計管理サービスの時間帯別速報(部門別)をご利用の場合は、部門リンク設定が必要です。

※部門リンクにおけるデフォルト設定は部門99です。

3.1.3 <スキャンング PLU >

◆ 3.1.3.1 スキャンング PLU 一覧

<スキャンングPLU>をクリックすると、スキャンングPLUの設定内容一覧を示します。

目的のスキャンングPLUをダブルクリックすると、その設定画面(3.1.3.2 スキャンングPLU設定の画面)を開きます。

メモリNo.	バーコード	名称	単価	課税方式	品番PLU	最大桁制限	現金単品売り	マイナス単価
00301	0000000000000000	PLU00301	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00302	0000000000000000	PLU00302	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00303	0000000000000000	PLU00303	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00304	0000000000000000	PLU00304	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00305	0000000000000000	PLU00305	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00306	0000000000000000	PLU00306	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00307	0000000000000000	PLU00307	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00308	0000000000000000	PLU00308	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00309	0000000000000000	PLU00309	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00310	0000000000000000	PLU00310	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00311	0000000000000000	PLU00311	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00312	0000000000000000	PLU00312	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00313	0000000000000000	PLU00313	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00314	0000000000000000	PLU00314	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00315	0000000000000000	PLU00315	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00316	0000000000000000	PLU00316	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00317	0000000000000000	PLU00317	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00318	0000000000000000	PLU00318	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00319	0000000000000000	PLU00319	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00320	0000000000000000	PLU00320	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00321	0000000000000000	PLU00321	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00322	0000000000000000	PLU00322	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00323	0000000000000000	PLU00323	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00324	0000000000000000	PLU00324	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00325	0000000000000000	PLU00325	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい
00326	0000000000000000	PLU00326	¥0	税テーブル1	はい	無し	はい	はい

スキャンングPLU開始メモリNo.: 301 (この値は、「全体設定」画面で変更できます)

ボタン: ヘルプ、印刷、検索、追加、変更、戻る

[印刷] スキャンングPLUの一覧を印刷します。全てを指定することも、リンク部門を指定することもできます。

[検索] 検索ウィンドウが開きます。バーコードや名称で検索が可能です。

[NFP 全クリア] ノットファウンドPLUアイテムをすべて通常アイテムにします。

[追加] 新規アイテムを追加するとき**[追加]**をクリックします。バーコードの入力画面が開きます。

[時間帯別アイテム選択] 時間帯別アイテムウィンドウが開きます。
※ 売上集計管理サービスEX 加入時に利用します。

[変更] 目的のスキャンングPLUの行を指定して**[変更]**をクリックすると、その設定画面を開きます。

[戻る] 前の画面に戻ります。

◆ 3.1.3.2 スキャンング PLU 設定

商品名や単価などを設定します。

名称	半角20文字 (全角10文字) 以内 ※1 営業日の途中で変更するとその日の集計データは、変更前の名称での売上も変更後の名称の売上として売上集計されます。
単価	6桁以内
課税方式	消費税計算に使用する税テーブルを指定します。(＜税テーブル＞の項目を参照してください)
品番PLU	「品番PLU」は単価が変わることがある商品をPLUに指定する場合に使用します。品番PLUは通常のPLUと異なり、バーコードを指定しただけでは登録されず、単価を入れて「金額」キーを押すことで登録されます。
最大桁制限	数字の打ち間違いを防ぐため、設定した桁数より大きい単価を入力して登録することを禁じます。
現金単品売り	食券発行など、そのPLUを登録しただけでレシートを発行し、取引を終了するために単品現金売りの設定をします。
マイナス単価	定額クーポン券などの登録のため、登録金額が常に負で処理されます。この設定をすると、通常の商品券には使えません。
ゼロ単価	サービス商品などの登録のため、0円で登録されます。
部門リンク	部門リンク先一覧から、このスキャンングPLUが集計される商品中分類(部門)を指定します。
グループリンク	グループリンク先一覧から、このPLU(商品)が集計される商品分類(グループ)を指定します。
削除禁止	該当アイテムの自動削除を禁止したいときに設定します。
ノットアワード PLU	該当アイテムがネットレジで自動学習されたときに設定されています。

【削除】 この画面の中のアイテムを削除にして、前の画面に戻ります。

【確定】 この画面の中で行なった設定内容を有効にして、前の画面に戻ります。

【キャンセル】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

注意!

※売上集計管理サービスの時間帯別速報(部門別)をご利用の場合は、部門リンク設定が必要です。

※部門リンクにおけるデフォルト設定はノンリンクです。

3.1.4 <時間帯別アイテム設定>

売上集計管理サービスEXの時間帯別速報・レポートを利用する時に、対象部門・商品を設定する機能です。時間帯別アイテムは最大300アイテムを指定することが可能です。部門、PLU、スキャニングPLUが指定可能です。

初期状態では計300アイテムが選択されています。

- ・ 部門01～部門30、部門99
- ・ PLU00001～PLU00269

初期状態から変更する場合は、本機能を使って、対象部門・商品を選択します。

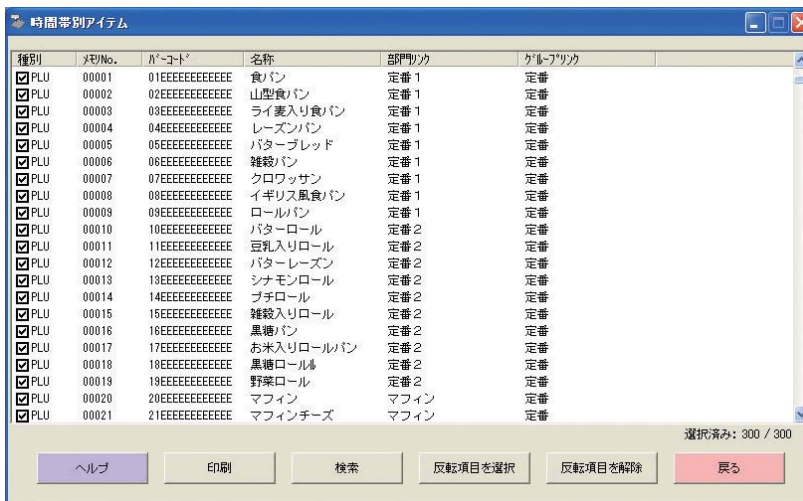
変更した設定は、売上集計管理サービスEXの「レジ設定」機能を使ってネットレジにダウンロードする必要があります。

種別	<input type="checkbox"/> にチェックマークを付けると、時間帯別アイテムの対象として設定されます。
メモリNo.	部門やPLU やスキャニングPLU のメモリNo. を表示します。
バーコード	スキャニングPLU のバーコードの値を表示します。
名称	部門やPLU やスキャニングPLU に設定された名前を表示します。
部門リンク	PLU やスキャニングPLU に設定された部門リンクを表示します。
グループリンク	PLU やスキャニングPLU に設定されたグループリンクを表示します。
選択済み	<input type="checkbox"/> にチェックマークが付いたアイテム数を表示します。

部門の表示例



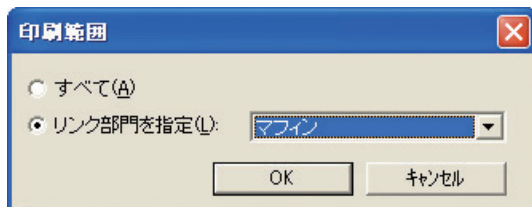
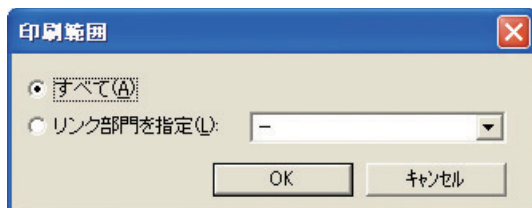
PLUの表示例



[印刷]

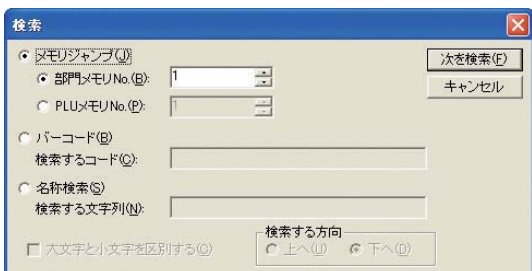
時間帯別アイテムの一覧を印刷します。

印刷範囲は全てを指定することも、リンク部門を指定することもできます。



[検索]

検索ウィンドウが開きます。バーコードや名称で検索が可能です。



[反転項目を選択]

反転表示したアイテムを時間帯別アイテムに設定します。

[反転項目を解除]

反転表示したアイテムを時間帯別アイテムから解除します。

[戻る]

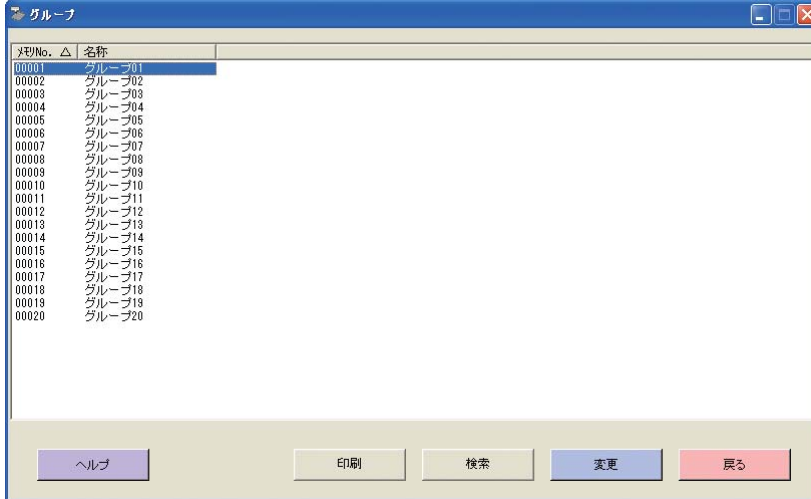
前の画面に戻ります。

3.1.5 <グループ>

◆ 3.1.5.1 グループ一覧

<グループ>をクリックすると、グループの設定内容一覧を示します。

目的のグループの行をダブルクリックすると、そのグループの設定画面 (3.1.5.2 グループ設定の画面) を開きます。



【印刷】 グループの一覧を印刷します。

開始メモリ番号と終了メモリ番号を入力して、印刷範囲を指定することもできます。

【検索】 検索ウィンドウが開きます。メモリ番号や名称で検索が可能です。

【変更】 目的のグループの行を指定して **【変更】** をクリックすると、そのグループの設定画面を開きます。

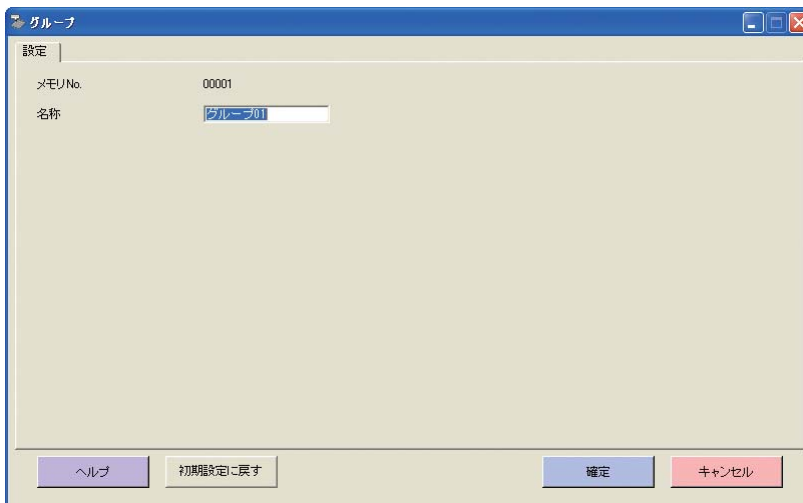
【戻る】 前の画面に戻ります。

◆ 3.1.5.2 グループ設定

グループ名を設定します。

名称 半角20文字 (全角10文字)以内

※1 営業日の途中で名称を変更するとその日の集計データは、変更前の名称での売上も変更後の名称の売上として売上集計されます。



【初期設定に戻す】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。

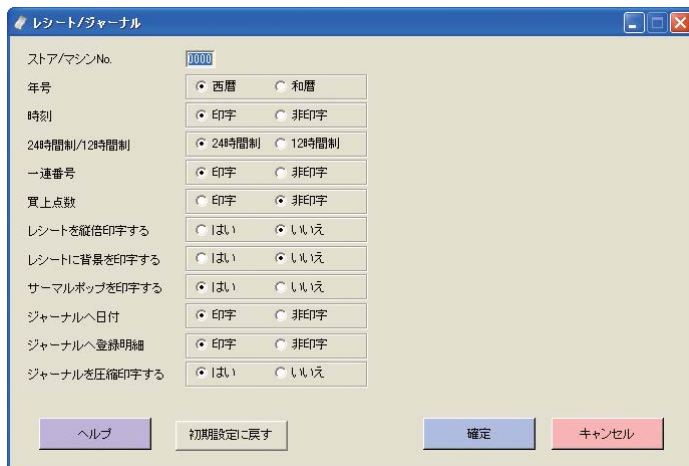
【確定】 この画面の中で行なった設定内容を有効にして、前の画面に戻ります。

【キャンセル】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

3.1.6 <レシート / ジャーナル>

レシート/ ジャーナルの印字に関する設定をおこないます。

ストア/ マシンNo.	レシートに印字するレジスタ番号 (0001- 9999)を設定します。("0000" の場合は印字しません)
年号	印字/ 表示する暦を西暦か和暦か規定します。
時刻	時刻の印字/ 非印字の切り替えをします。
24 時間制/12 時間制	時刻を24 時間制にするか/12 時間制にするかの切り替えをします。
一連番号	一連番号の印字/ 非印字を切り替えます。
買上点数	買上点数の印字/ 非印字を切り替えます。
レシートを縦倍印字する	レシートを縦倍文字で印字するか/ 標準文字で印字するかを切り替えます。
レシートに背景を印字する	レシートにどの背景を印字するか/ 印字しないかを切り替えます。
サーマルポップを印字する	レシートの末尾にサーマルポップを印字するか/ 印字しないかを切り替えます。 (サーマルポップを印字するには、サーマルポップの入った電子店名スタンプがレジスタに装着されていなければなりません)
ジャーナルへ日付	ジャーナルへの日付を印字するか/ 印字しないかを切り替えます。
ジャーナルへ登録明細	ジャーナルへ登録明細を印字するか/ 印字しないかを切り替えます。
ジャーナルを圧縮印字する	ジャーナルを縦方向に1/2 に圧縮して印字するか/ 標準文字で印字するかの切り替えを行ないます。



【初期設定に戻す】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。

【確定】 この画面の中で行なった設定内容を有効にして、前の画面に戻ります。

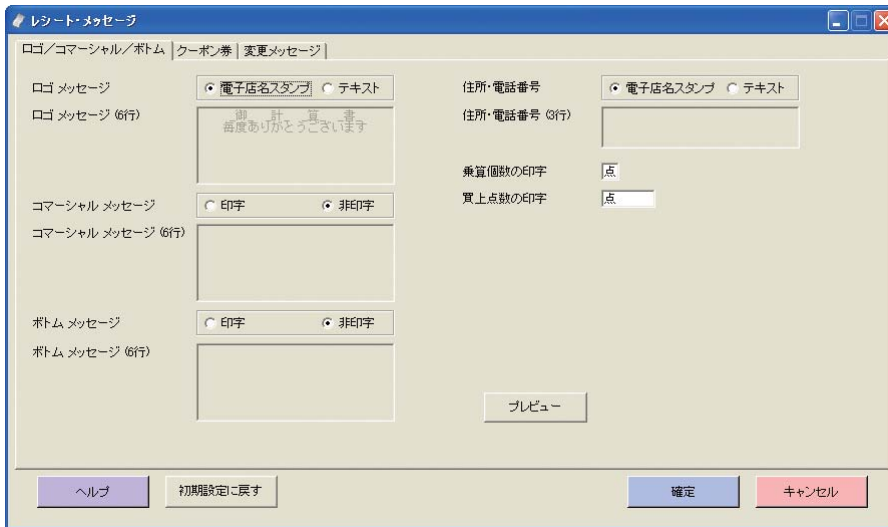
【キャンセル】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

3.1.7 <レシート / メッセージ>

レシート・メッセージの印字に関する設定を行います。「ロゴ/ コマーシャル/ ボトム」「クーポン券」「変更メッセージ」の3つのタブがあります。

◆ 3.1.7.1 ロゴ / コマーシャル / ボトム

- ロゴメッセージ 電子店名スタンプに設定した内容をロゴメッセージに印字するか、テキスト印字するかを規定します。
- コマーシャルメッセージ コマーシャルメッセージの内容と印字/ 非印字を規定します。
- ボトムメッセージ ボトムメッセージの内容と印字/ 非印字を規定します。
- 住所・電話番号 レシートに印字される、最大で3行のメッセージ（住所と電話番号に使用）の設定をします。電子店名スタンプに設定した内容を印字することも可能です。
- 乗算個数の印字 <X/ 日時> キーで乗算登録を行なった場合の、個数を示す印字文字を設定します。半角2文字（全角1文字）
- 買上点数の印字 買上点数を示す印字文字の設定を行ないます。半角8文字（全角4文字）



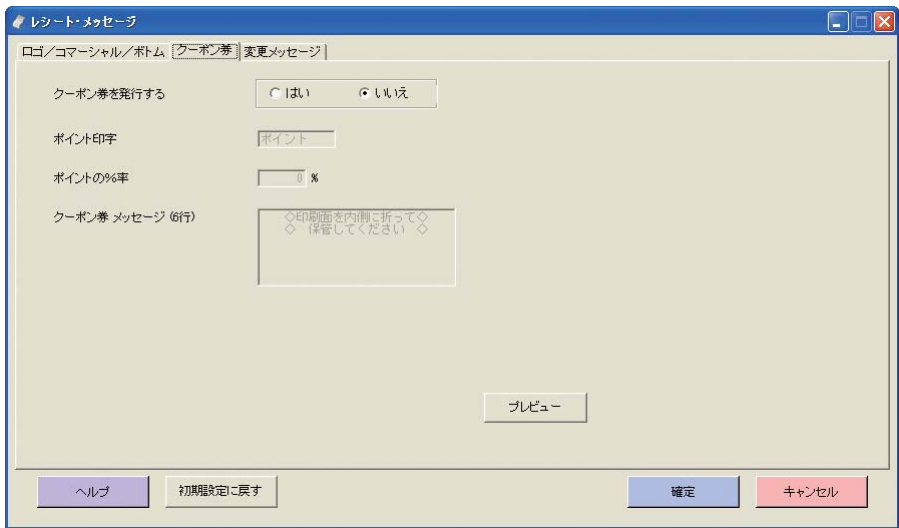
- 【プレビュー】** 印字されるレシートの簡易的なプレビューを表示します。
- 【初期設定に戻す】** この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
- 【確定】** この画面の中で行なった設定内容を有効にして、前の画面に戻ります。
- 【キャンセル】** この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

メッセージの桁数と行数：

	半角文字桁数	全角文字桁数	行数
ロゴメッセージ	32	16	6
コマーシャルメッセージ	32	16	6
ボトムメッセージ	32	16	6

◆ 3.1.7.2 クーポン券

クーポン券を発行する クーポン券発行のする/しないを規定します。
 ポイント印字 ポイントの名称を設定します。半角12文字(全角6文字)
 ポイントの%率 ポイントのパーセントを設定します。0.0%から99.99%
 クーポン券メッセージ クーポン券に印字されるメッセージの内容を設定します。



- [プレビュー]** 印字されるクーポン券の簡易的なプレビューを表示します。
- [初期設定に戻す]** この画面の中で行った設定内容を無効にて、お買い上げのときの状態に戻します。
- [確定]** この画面の中で行った設定を有効にして、前の画面に戻ります。
- [キャンセル]** この画面の中で行った設定を無効にして、前の画面に戻ります。

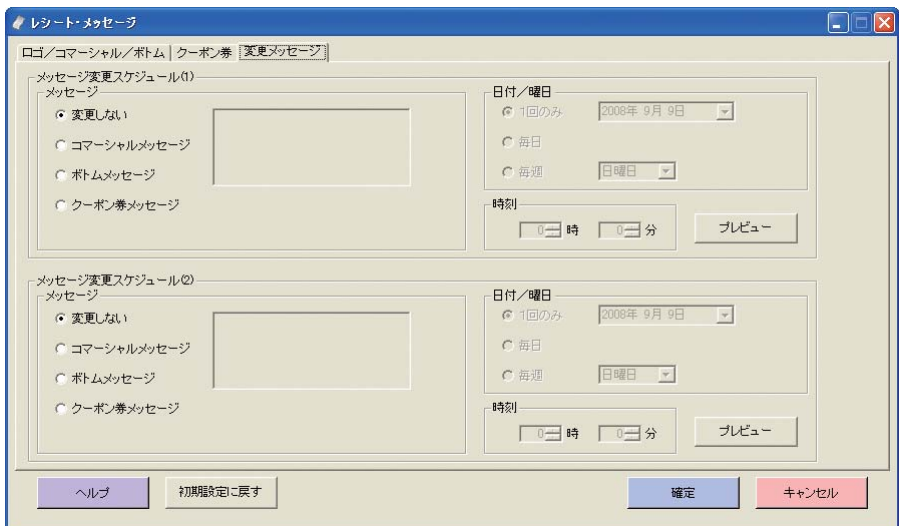
メッセージの桁数と行数：

	半角文字桁数	全角文字桁数	行数
クーポン券メッセージ	32	16	6

◆ 3.1.7.3 変更メッセージ

メッセージ変更の内容とスケジュールの設定を行います。同時に2組のメッセージ変更を設定することが出来ます。

メッセージ 変更するメッセージのタイプと内容、変更のする/しないを規定します。
 日付/曜日 メッセージ変更の日付及び曜日を設定します。
 時刻 メッセージ変更の時刻を設定します。



- 【プレビュー】** 印字されるレシートの簡易的なプレビューを表示します。
- 【初期設定に戻す】** この画面の中で行った設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
- 【確定】** この画面の中で行った設定を有効にして、前の画面に戻ります。
- 【キャンセル】** この画面の中で行った設定を無効にして、前の画面に戻ります。

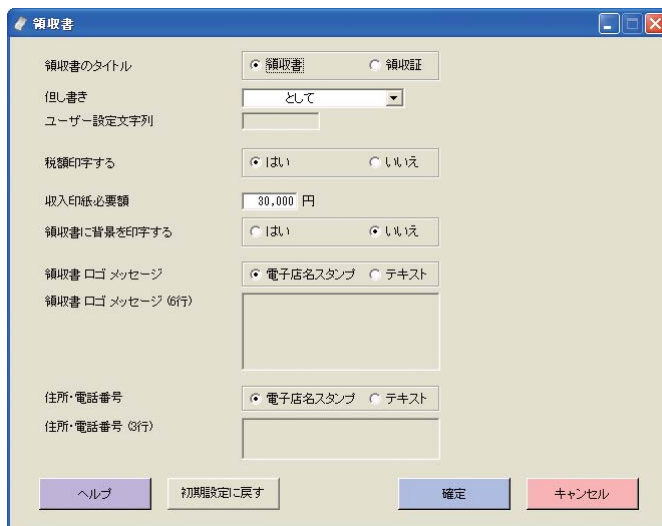
メッセージの桁数と行数：

	半角文字桁数	全角文字桁数	行数
コマースシャルメッセージ	32	16	6
ボトムメッセージ	32	16	6
クーポン券メッセージ	32	16	6

3.1.8 <領収書>

領収書の印字に関する規定をします。

- 領収書のタイトル 領収書か領収証かを切り替えます。
- 但し書き 但し書きの内容をプルダウンメニューから選びます。
- ユーザー設定文字列 ユーザー設定を選んだ時は、自分で文字列を設定することができます。半角12文字(全角6文字)
- 税額印字する 領収書に税抜き金額と税額を印字する/ 印字しないを切り替えます。
- 収入印紙必要額 お買い上げ金額がこの設定値以上の場合に、収入印紙枠を印字します。また、明細レポート内の「領収書 印紙」の項目に集計されます。(この設定値よりお買い上げ金額が小さい場合、「領収書」の項目に集計されます。0円を設定すると、収入印紙枠を印字しません。)
- 領収書に背景を印字する 領収書上の背景の印字/ 非印字を規定します。
- 領収書ロゴメッセージ 電子店名スタンプに設定した内容をロゴメッセージに印字するか、テキスト印字するかを規定します。
- 住所・電話番号 住所・電話番号の内容とテキストで印字、電子店名スタンプに設定した内容で印字、の規定をします。



- 【初期設定に戻す】** この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
- 【確定】** この画面の中で行なった設定内容を有効にして、前の画面に戻ります。
- 【キャンセル】** この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

メッセージの桁数と行数：

	半角文字桁数	全角文字桁数	行数
住所・電話番号	32	16	3

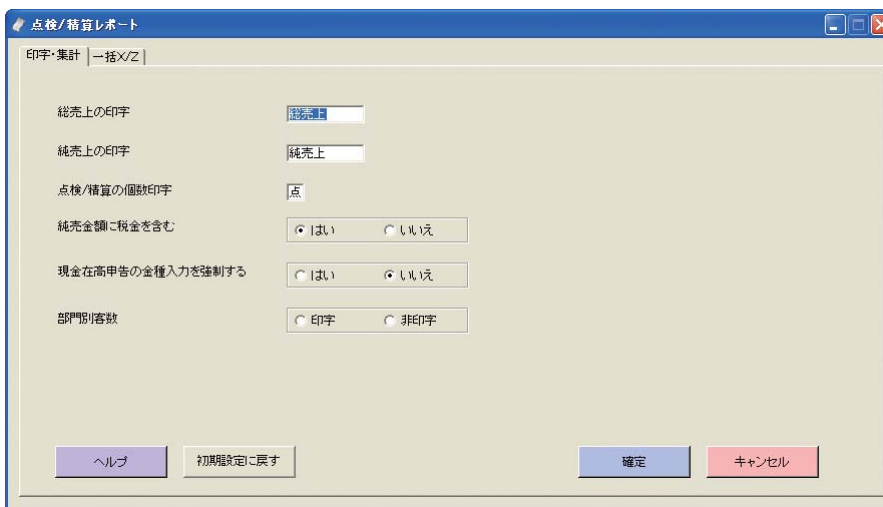
3.1.9 <点検 / 精算レポート>

点検/ 精算レポートの印字と集計に関する規定と設定をします。「印字・集計」「一括X/ Z」の2つのタブがあります。

◆ 3.1.9.1 印字・集計

点検/ 精算レポートの印字に関する規定をします。

総売上の印字	明細レポート (固定合計器) 上の「総売上」の文字を設定します。半角12文字 (全角6文字)
純売上の印字	明細レポート (固定合計器) 上の「純売上」の文字を設定します。半角12文字 (全角6文字)
点検/ 精算の個数印字	レポート上の個数を示すシンボル文字を設定します。半角2文字 (全角1文字)以内 (例 :点、個、枚、ml など)
純売金額に税金を含む	純売り金額に税額を含むか否かを規定します。
現金在高申告の金種入力を強制する	現金在高申告の金種入力を強制するか否かを規定します。
部門別客数	部門別客数を印字するかしないかを設定します。



【初期設定に戻す】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。

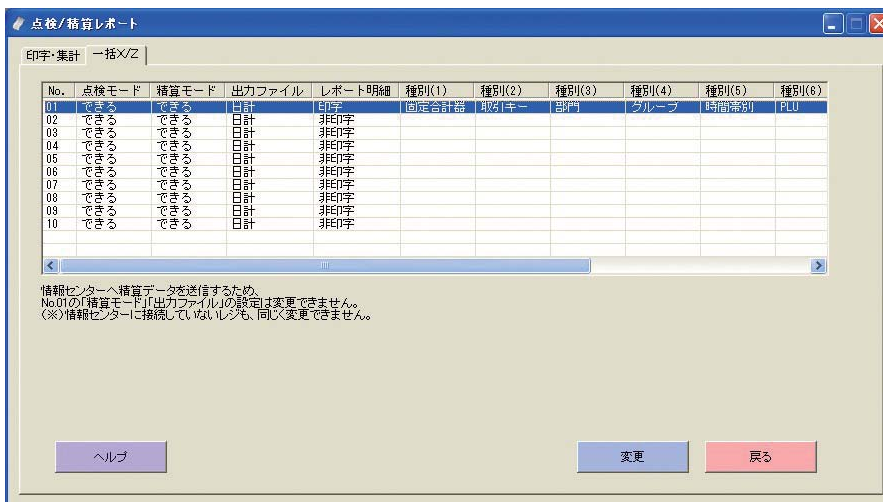
【確定】 この画面の中で行なった設定内容を有効にして、前の画面に戻ります。

【キャンセル】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

◆ 3.1.9.2 一括X / Z

「一括X/ Z」タブをクリックすると、一括X/ Zの設定内容一覧を表示します。

目的の項目をダブルクリックすると、その項目の設定画面 (3.1.9.3 一括X/ Z設定の画面) を開きます。



【変更】 目的の項目の行を指定して **【変更】** をクリックすると、その項目の設定画面を開きます。

【戻る】 前の画面に戻ります。

注意!

※情報センターに精算データを送信するために、No.01の「精算モード」「出力ファイル」の設定は変更できません。

◆ 3.1.9.3 一括X / Z設定

点検/ 精算レポートの印字の制御と種別を規定します。

制御

「点検」モードで操作

「点検」モードで操作のできる/ できないを規定します。

「精算」モードで操作

「精算」モードで操作のできる/ できないを規定します。

注意!

※売上データをホームページ上で確認するため、この設定変更ができないことがあります。

出力ファイル

出力ファイルを指定します。

注意!

※売上データをホームページ上で確認するため、この設定変更ができないことがあります。

レポート明細

レポート明細の印字/ 非印字の切換えをします。

種別

種別候補から実行対象を追加、削除します。

移動 (順序の入れ替え) も可能です。

注意!

※実行対象を削除すると、削除した種別の売上データが情報センターにアップされなくなり、ホームページで対象の売上を確認できなくなります。

※下の画面 (No.01) は、情報センター接続用の設定です。このとき実行対象から固定合計器を削除すると、情報センターに情報がアップされなくなりますのでご注意ください。

【初期設定に戻す】 この画面の中で行った設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。

【確定】 この画面の中で行った設定を有効にして、前の画面に戻ります。

【キャンセル】 この画面の中で行った設定を無効にして、前の画面に戻ります。

3.1.10 <レジ担当者>

◆ 3.1.10.1 担当者一覧

<レジ担当者>をクリックすると、担当者一覧を表示します。目的の担当者をダブルクリックすると、その担当者の名前や担当者番号の設定画面が開きます。(3.1.10.2 各担当者 参照)

担当者機能を有効にする

担当者機能を使用する場合は、有効に設定します。

※「担当者機能を有効にする」が「いいえ」に設定されていると、担当者一覧の画面は無効になります。



【検索】 検索ウィンドウが開きます。メモリ番号や名称で検索が可能です。

【変更】 目的の担当者行を指定し**【変更】**をクリックすると、その担当者の設定画面が開きます。

【戻る】 前の画面に戻ります。

◆ 3.1.10.2 各担当者

各担当者の名前や担当者番号を設定します。

名前

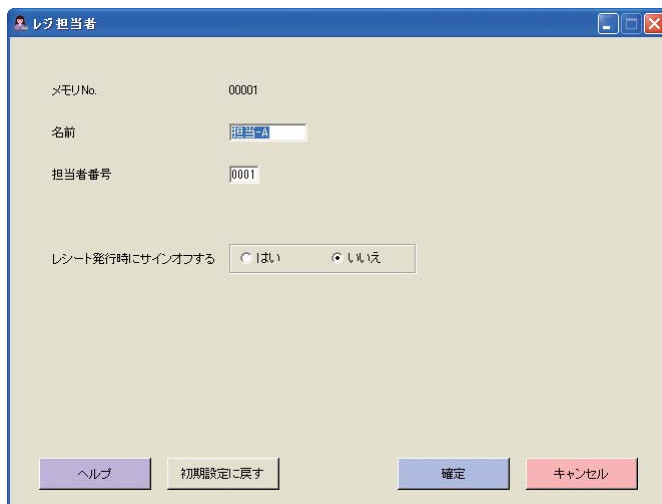
半角12文字 (全角6文字)以内

担当者番号

担当者ごとに専用の番号を割り当てます (0001 - 9999 :重複をしないこと)。

レシート発行時にサインオフする

レシート発行時にサインオフするか否かを規定します。



【初期設定に戻す】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。

【確定】 この画面の中で行なった設定内容を有効にして、前の画面に戻ります。

【キャンセル】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

3.1.11 <客層>

◆ 3.1.11.1 客層一覧

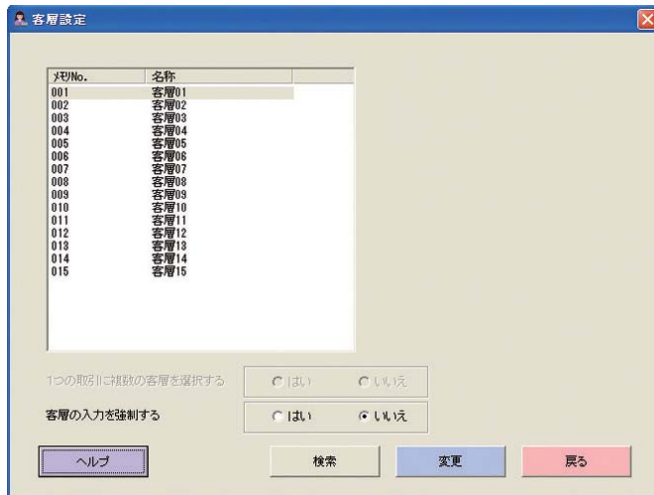
客層機能を利用するには、①客層の定義と②その定義を呼び出す客層呼出ボタンの設定 (3.1.14.27 客層)が必要になります。

本章では、客層の定義を説明します。

<客層>をクリックすると、客層一覧を表示します。目的の客層をダブルクリックすると、その客層の名前の設定画面が開きます。(3.1.11.2 各客層 参照)

1つの取引に複数の客層を選択する： レジ登録時に複数客層を使用する場合は、有効に設定します。

客層の入力を強制する： レジ登録時に客層入力を強制する場合は、有効に設定します。



【検索】 検索ウィンドウが開きます。メモリ番号や名称で検索が可能です。

【変更】 目的の客層行を指定し [変更] をクリックすると、その客層の設定画面が開きます。

【戻る】 前の画面に戻ります。

◆ 3.1.11.2 各客層

各客層の名前を設定します。

客層名称 半角12文字 (全角6文字) 以内



【初期設定に戻す】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。

【確定】 この画面の中で行なった設定内容を有効にして、前の画面に戻ります。

【キャンセル】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

3.1.12 <全体設定>

レジスタの基本的な動作を規定します。

基本機能/ 強制操作

ストア/ マシンNo.

レシートに印字するレジスタ番号(0001 - 9999)を設定します。
("0000" の場合は印字しません)

締め操作前に小計キーを強制する

「小計」キーを押さないと締め操作ができません。

日計明細精算後に一連番号をリセットする

日計明細精算後の次のレシートの一連番号を1から始めるか、
精算後もそのまま続けるかを規定します。

キー確認音を鳴らす

キー確認音を鳴らしたり、止めたりします。

PLU の部門リンクを必須にする

PLU を必ず部門にリンクさせるか否かを規定します。

PLU/ スキャンングPLU

スキャンングPLU 開始メモリNo. を設定します。(TK-5500 の
場合:1 ~2500 (最大50000)、TE-5500 の場合:1 ~5000
(最大50000))

【初期設定に戻す】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。

【確定】 この画面の中で行なった設定内容を有効にして、前の画面に戻ります。

【キャンセル】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

3.1.13 <オンライン>

情報センターへの接続の設定を規定します。

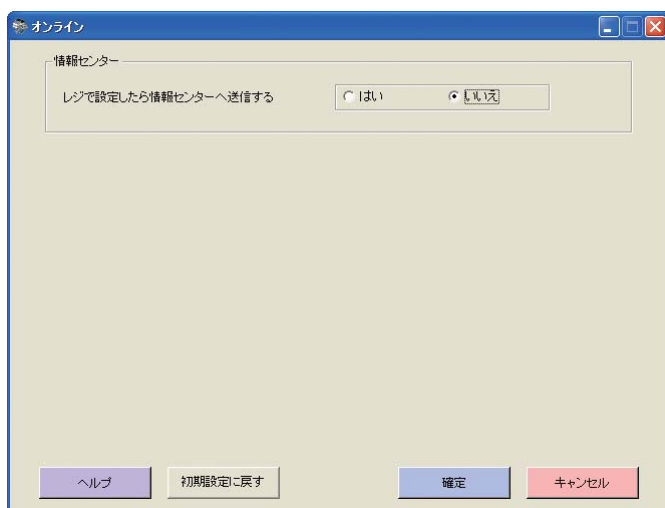
情報センター

レジで設定したら情報センターへ送信する

レジで設定を行った後情報センターへ設定を送信するか否かを規定します。

注意!

※集計日の考え方については「売上集計管理サービス」のご利用ガイドをご参照ください。



【初期設定に戻す】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。

【確定】 この画面の中で行なった設定内容を有効にして、前の画面に戻ります。

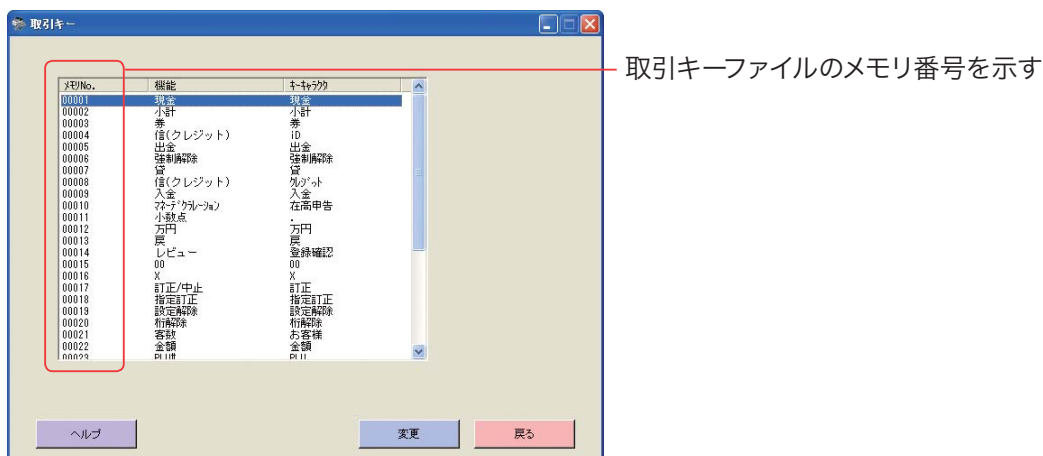
【キャンセル】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

3.1.14 <取引キー>

◆ 3.1.14.1 取引キー一覧

<取引キー>をクリックすると、取引キーの一覧を示します。

目的の取引キーの行をダブルクリックすると、その取引キーの設定画面を開きます。



【変更】 目的の取引キーの行を指定して**【変更】**をクリックすると、その取引キーの設定画面を開きます。

【戻る】 前の画面に戻ります。

(以下に、一覧表上の「各取引キー行」から設定できるキーごとの設定画面を示します。)

◆ 3.1.14.2 各取引キーが持つ設定

○ 以下の4つの設定項目は頻出しますので、この節で代表して説明します。

キーキャラクタ

半角12文字(全角6文字)以内

「戻」「レジマイナス」モードで操作

それぞれのモードでキー操作できるか否かを規定します。

「登録」モードで操作

登録モードでキー操作できるか否かを規定します。

IDCで出力する

該当キーの登録を単品収集(IDC)するかないかを規定します。

設定項目が「キーキャラクタ」のみの取引キー
担当者番号、強制解除、E N T、操作ガイド、接続



○ また、個々の設定ウインドウの下にあるメニューキーの意味は、以下の通りです。

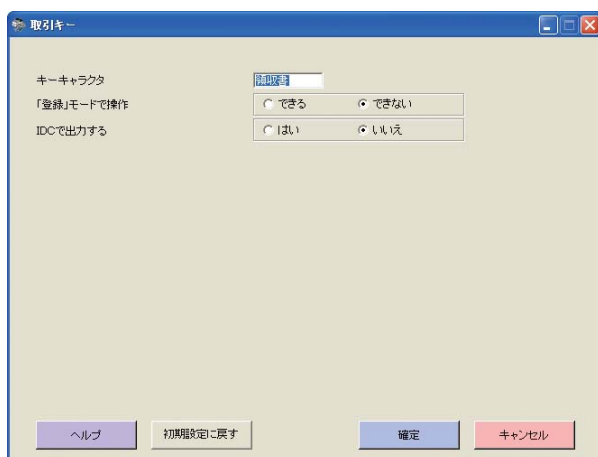
【初期設定に戻す】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。

【確定】 この画面の中で行なった設定内容を有効にして、前の画面に戻ります。

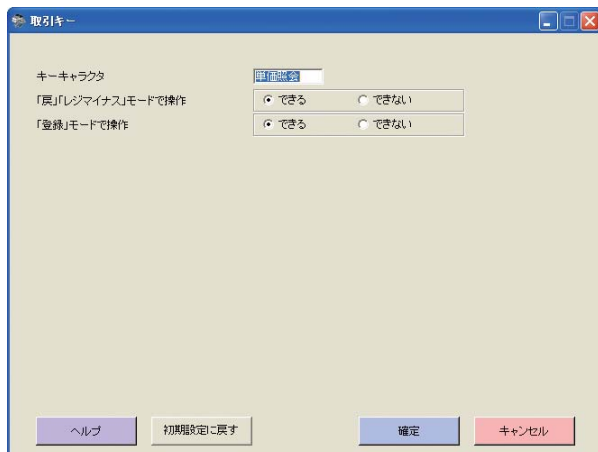
【キャンセル】 この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

これらの説明は、以降の取引キーの説明からは省きます。

設定項目が「キーキャラクタ」、「登録」モードで操作「IDC で出力する」の取引キー
領収書発行

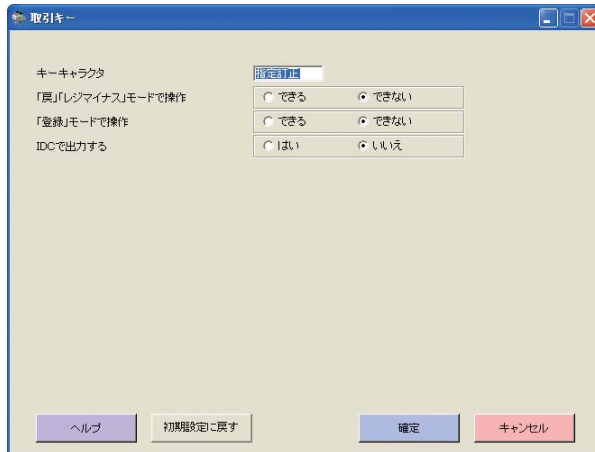


設定項目が「キーキャラクタ」、「戻」「レジマイナス」モードで操作、「登録」モードで操作」の取引キー
単価照会、戻し、P L U #、金額、非課税、テーブル番号、奉仕料非対象、伝票呼出、伝票合算、別々会計、オー
プンチェック



設定項目が「キーキャラクタ」、「戻」「レジマイナス」モードで操作、「登録」モードで操作、「IDC で出力する」の取引キー

指定訂正、両替（替）、在高申告、新規伝票、伝票番号、顧客番号



※取引キーには設定項目が変更できないものもあります。(00 キー、000 キー、. キー)

◆ 3.1.14.3 現金、貸、券

内税額を印字する
一部入金を認める

預かり金の入力を認める
釣りの出る預かりを認める
預かり金の入力を強制する
預かり金の最大金額の制限 (左端の数値)
預かり金の最大金額の制限 ("0" の個数)

釣り銭の最大金額の制限 (左端の数値)

釣り銭の最大金額の制限 ("0" の個数)

レシートに税の対象額と内税額を印字します。

締め操作時の一部入金を認めます。(預かり不足でもエラーになりません)

締め操作時の預かり金の入力を認めます。

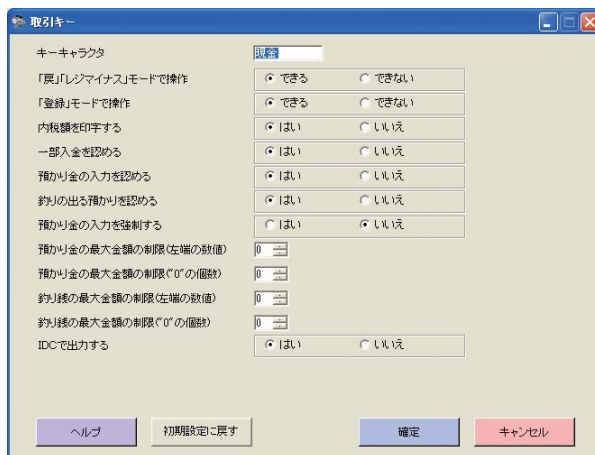
釣りの発生する預かり操作を認めます。

預かり金を入力しないと、締め操作ができなくなります。

ここで設定した値よりも大きい金額の預かり操作を禁止します。
"00" では制限しない。設定数値例 50,000 円→54 100,000 円→15

ここで設定した値よりも大きい金額の釣り銭となる預かり金額による操作を禁止します。

"00" では制限しない。設定数値 9,000 円→93 3,500 円→設定不可



◆ 3.1.14.4 信 (クレジット、iD)

内税額を印字する

小計の最大金額の制限 (左端の数値)

小計の最大金額の制限 (“0”の個数)

レシートに税の対象額と内税額を印字します。

ここで設定した値よりも大きい金額の預かり操作を禁止します。

“00”では制限しない。設定数値例50,000円→54 100,000円→15

◆ 3.1.14.5 仮締め

内税額を印字する

キー操作でドロアを開ける

仮締めレシートを発行する

レシートに税の対象額と内税額を印字します。

「仮締め」キーを押したときドロアを開けるか否かを規定します。

「仮締め」キーを押したときレシートを発行するか否かを規定します。

◆ 3.1.14.6 キャラクタプリント

レシートに印字する

レシートにキャラクタプリント内容を印字するか否かを規定します。

◆ 3.1.14.7 万円

キーの種類 万円、五千円、千円の選択をします。

◆ 3.1.14.8 入金、出金、釣銭準備、回収

入力できる最大金額の制限 (左端の数値)
入力できる最大金額の制限 ("0" の個数)

ここで設定した値よりも大きい金額の預かり操作を禁止します。
"00" では制限しない、設定数値例 50,000 円→54 100,000 円→15

◆ 3.1.14.9 プラス

金額

6桁以内

課税方式

消費税計算に使用する税テーブルを指定します。
(<税テーブル>の項目を参照してください)

奉仕料対象にする

奉仕料の計算対象とするか否かを規定します。

最大桁制限

ここで設定した桁数よりも大きい金額を入力しての値増し操作を禁止します。

小計値増し

小計後値増し (プラス)登録ができるか否かを規定します。

単品値増し

単品値増し (プラス)登録ができるか否かを規定します。

◆ 3.1.14.10 マイナス

金額	6桁以内
課税方式	消費税計算に使用する税テーブルを指定します。 (<税テーブル> の項目を参照してください)
奉仕料対象にする	ここで設定した桁数よりも大きい金額を入力しての値引き操作を禁止します。
小計が負になることを認める	小計金額がマイナスになるような値引き操作を許します。
最大桁制限	ここで設定した桁数よりも大きい金額を入力しての値引き操作を禁止します。
小計値引き	小計後値引き (マイナス) 登録ができるか否かを規定します。
単品値引き	単品値引き (マイナス) 登録ができるか否かを規定します。

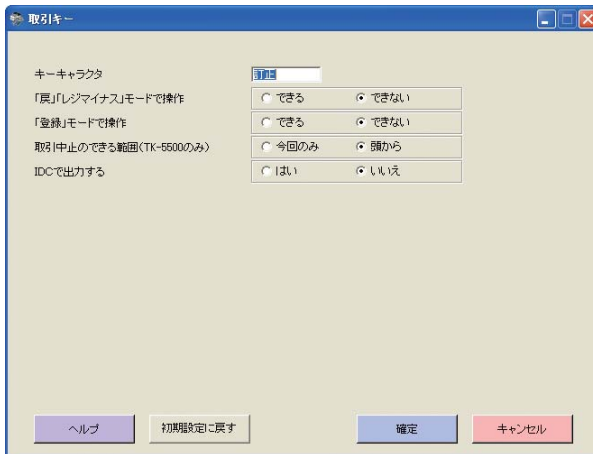
◆ 3.1.14.11 %-、%+

%率	0, 0.01 - 99.99%
端数処理	計算結果の小数第一位の端数処理方法を規定します。
課税方式	消費税計算に使用する税テーブルを指定します。 (<税テーブル> の項目を参照してください)
奉仕料対象にする	奉仕料の計算対象とするか否かを規定します。
新たな%率の入力を認める	設定された%率とは別に、%率を入力して割引/割増し登録する事を認めます。 複数の%率を使用する場合、この設定をしておきます。
小計割引 (%) / 割増し (%)	小計後割引 (%) / 割増し (%) 登録ができるか否かを規定します。
単品割引 (%) / 割増し (%)	単品割引 (%) / 割増し (%) 登録ができるか否かを規定します。

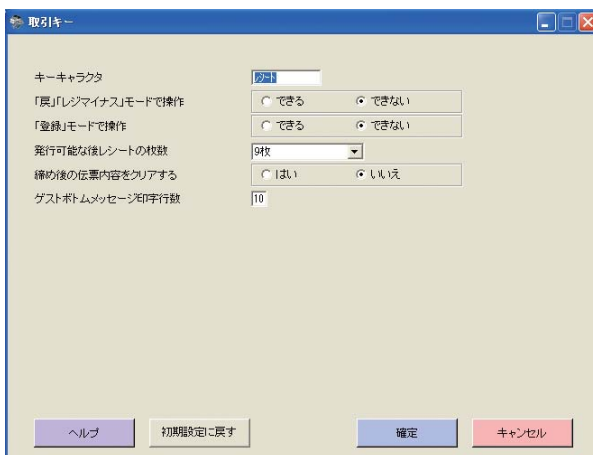
◆ 3.1.14.12 訂正 / 中止、取引中止

取引中止のできる範囲 (TK-5500 のみ)

取引中止する範囲を規定します。



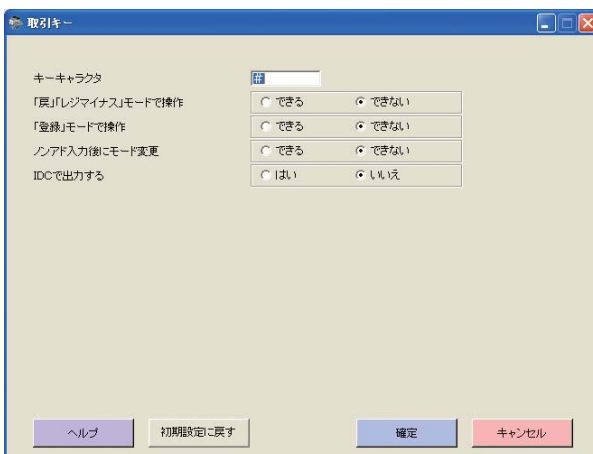
◆ 3.1.14.13 後レシート

発行可能な後レシートの枚数
締め後の伝票内容をクリアする
ゲストボトムメッセージ印字行数発行可能な枚数を規定します。
クリアするか否かを規定します。
"01 ~10"、"00" では印字しません。


◆ 3.1.14.14 #、# / 替

ノンアド入力後にモード変更

この設定をすると、ノンアド入力後に「登録中」となり、モード変更できません。



◆ 3.1.14.15 客数

客数の再入力

同じ取引中に2度目の客数入力をしたときの扱いを規定します。

◆ 3.1.14.16 アレンジ

「点検」モードで操作
「精算」モードで操作
アレンジテーブル番号

点検モードでキー操作できるか否かを規定します。
精算モードでキー操作できるか否かを規定します。
アレンジテーブル番号を設定します。1～999999

◆ 3.1.14.17 通貨変換

金額シンボル指定
他国通貨の在高合计数器指定
端数処理
ADD モード (小数点の位置)
ADD (小数点)のシンボル
桁区切りのシンボル

他国通貨の金額シンボルをプルダウンリストから選びます。
他国通貨の在高合计数器をプルダウンリストから選びます。
通貨変換時の端数処理を選びます。
小数点以下の桁数をプルダウンリストから選びます。
小数点のシンボルをピリオドかコンマか選びます。
桁区切りのシンボルをピリオドかコンマか選びます。

◆ 3.1.14.18 桁解除

金額制限

金額制限も解除するか否かを規定します。

キーキャラクタ	桁解除
「戻」レジマイナスモードで操作	<input type="radio"/> できる <input checked="" type="radio"/> できない
「登録」モードで操作	<input type="radio"/> できる <input checked="" type="radio"/> できない
金額制限	<input checked="" type="radio"/> 解除する <input type="radio"/> 解除しない

◆ 3.1.14.19 設定解除

「顧客番号入力」強制

顧客番号の入力を解除するか否かを規定します。

「客層入力」強制

客層の入力を解除するか否かを規定します。

「客数入力」強制

客数の入力を解除するか否かを規定します。

「テーブル番号入力」強制

テーブル番号の入力を解除するか否かを規定します。

「伝票番号入力」強制

伝票番号の入力を解除するか否かを規定します。

「マイナス締め不可」

負の合計でも締められるか否かを規定します。

キーキャラクタ	設定解除
「戻」レジマイナスモードで操作	<input type="radio"/> できる <input checked="" type="radio"/> できない
「登録」モードで操作	<input type="radio"/> できる <input checked="" type="radio"/> できない
「顧客番号入力」強制	<input checked="" type="radio"/> 解除する <input type="radio"/> 解除しない
「客層入力」強制	<input checked="" type="radio"/> 解除する <input type="radio"/> 解除しない
「客数入力」強制	<input checked="" type="radio"/> 解除する <input type="radio"/> 解除しない
「テーブル番号入力」強制	<input checked="" type="radio"/> 解除する <input type="radio"/> 解除しない
「伝票番号入力」強制	<input checked="" type="radio"/> 解除する <input type="radio"/> 解除しない
「マイナス締め不可」	<input checked="" type="radio"/> 解除する <input type="radio"/> 解除しない

◆ 3.1.14.20 登録確認

客数を表示する

客数を表示するか否かの規定をします。

キーキャラクタ	登録確認
「戻」レジマイナスモードで操作	<input type="radio"/> できる <input checked="" type="radio"/> できない
「登録」モードで操作	<input type="radio"/> できる <input checked="" type="radio"/> できない
客数を表示する	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ

◆ 3.1.14.21 小計

金額に外税分を含む
このキーを印字する

小計金額に外税額を含むか否かの規定をします。
このキーを押したときに印字するか否かの規定をします。

キーキャラクタ	小計
「戻」「レジマイナス」モードで操作	<input type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない
「登録」モードで操作	<input type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない
金額に外税分を含む	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
このキーを印字する	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
IDCで出力する	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ

◆ 3.1.14.22 税抜小計

このキーを印字する

このキーを押したときに印字するか否かの規定をします。

キーキャラクタ	税抜小計
「戻」「レジマイナス」モードで操作	<input type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない
「登録」モードで操作	<input type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない
このキーを印字する	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
IDCで出力する	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ

◆ 3.1.14.23 X

乗算入力順

このキーで乗算登録を行う場合の、個数と単価の入力順番を規定します。(「金額×個数」は部門登録にしか使用できません)

端数処理

乗算結果金額の端数処理を規定します。

キーキャラクタ	X
「戻」「レジマイナス」モードで操作	<input type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない
「登録」モードで操作	<input type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない
乗算入力順	<input type="radio"/> 個数×金額 <input checked="" type="radio"/> 金額×個数
端数処理	<input type="radio"/> 四捨五入 <input type="radio"/> 切捨て <input checked="" type="radio"/> 切上げ

◆ 3.1.14.24 X/FOR

端数処理

乗算結果金額の端数処理を規定します。

The dialog box '取引キー' (Transaction Key) has a title bar with standard window controls. The main area contains the following settings:

- キーキャラクタ: X/FOR
- 「戻」「レジマイナス」モードで操作: できる できない
- 「登録」モードで操作: できる できない
- 端数処理: 四捨五入 切捨て 切上げ

At the bottom, there are buttons for 'ヘルプ' (Help), '初期値設定に戻す' (Reset to default values), '確定' (OK), and 'キャンセル' (Cancel).

◆ 3.1.14.25 割勘

締め後に割勘レシートを発行する

締め後に割勘レシートを発行するか否かに規定をします。

The dialog box '取引キー' (Transaction Key) has a title bar with standard window controls. The main area contains the following settings:

- キーキャラクタ: 割勘
- 「戻」「レジマイナス」モードで操作: できる できない
- 「登録」モードで操作: できる できない
- 締め後に割勘レシートを発行する: はい いいえ

At the bottom, there are buttons for 'ヘルプ' (Help), '初期値設定に戻す' (Reset to default values), '確定' (OK), and 'キャンセル' (Cancel).

◆ 3.1.14.26 出退勤

最大置数桁制限

置数桁制限 (制限無し、1~15桁まで)を規定します。

キーの機能

「入店」「退店」「外出」「戻り」を規定します。

出勤時、退勤時にレシート発行する

レシート発行するか否かを規定します。

The dialog box '取引キー' (Transaction Key) has a title bar with standard window controls. The main area contains the following settings:

- キーキャラクタ: 出退勤
- 「戻」「レジマイナス」モードで操作: できる できない
- 「登録」モードで操作: できる できない
- 最大置数桁制限: 16桁
- キーの機能: 入店 退店 外出 戻り
- 出勤時、退勤時にレシート発行する: はい いいえ
- IDCで出力する: はい いいえ

At the bottom, there are buttons for 'ヘルプ' (Help), '初期値設定に戻す' (Reset to default values), '確定' (OK), and 'キャンセル' (Cancel).

1. レジ設定ツールの主な仕様

2. セットアップ

3. 設定

◆ 3.1.14.27 客層

客層機能を利用するには、①客層の定義 (3.1.11 <客層>) と②その定義を呼び出す客層呼出ボタンの設定が必要になります。

本章では、客層呼出ボタンの設定について説明します。

客層を呼出するボタンを作成するには、

- ① ネットレジにて客層ボタンを作成する
- ② 設定をCXD ネット情報センターに送信する
- ③ 本設定ツールをインストールしたPC に設定をダウンロードする
- ④ その設定ファイルを開いて設定する、
という手順になります。

客層指定 客層01 ～15 までを指定します。

取引キー

キーキャラクタ 設定

「戻」[レジマイナス]モードで操作 できる できない

「登録」モードで操作 できる できない

客層指定 客層15

ヘルプ 初期値設定に戻す 確定 キャンセル

◆ 3.1.14.28 取引中止

取引中止のできる範囲 (TK-5500 のみ)

取引中止のできる範囲の設定を規定します。

取引キー

キーキャラクタ 設定

「戻」[レジマイナス]モードで操作 できる できない

「登録」モードで操作 できる できない

取引中止のできる範囲(TK-5500のみ) 今回のみ 時から

IDCで出力する はい いいえ

ヘルプ 初期値設定に戻す 確定 キャンセル

◆ 3.1.14.29 面切替

面切替 (TK- 2500、TK-5500 のみ)

面切替キーの動作を「順に切替」「1面」「2面」「3面」のいずれかに規定します。

3.1.15 <税テーブル>

税金計算用テーブルと税金に関するレシート/ジャーナルの印字を規定します。
お買い上げ後には、内税がテーブル1、外税がテーブル2に設定されています。

税テーブル1～4

税タイプ	内税 (内掛け)か外税 (外掛け)かを規定します。
税率	0, 0.01 ~99.9999%
端数処理	税金の小数点第一位の端数処理を規定します。
課税対象額名称	レシート/ジャーナル上の「内税対象計」や「外税対象額」行の名称を変更します。 半角12文字以内
税金名称	レシート/ジャーナル上および明細レポート上の税金行の名称を変更します。 半角12文字以内

印字制御

非課税合計額	レシート/ジャーナル上の「非課税合計」行の印字/非印字を切り替えます。
課税対象額	レシート/ジャーナル上の「内税対象計」や「外税対象額」行の印字/非印字を切り替えます。
税率	レシート/ジャーナルおよび明細レポート上の税金行の税率の印字/非印字を切り替えます。
課税シンボル	税テーブルに対応した課税シンボルの印字/非印字を切り替えます。

- 【初期設定に戻す】** この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
- 【確定】** この画面の中で行なった設定内容を有効にして、前の画面に戻ります。
- 【キャンセル】** この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

注意!

*税タイプを規定すると、課税対象額名称と税金名称が初期設定の名称に戻ります。これらの名称を変更する場合は、税タイプを決定した後に変更してください。

3.1.16 <税予約テーブル>

消費税改定が行なわれた場合に税タイプ・税率を設定します。変更日の設定を行なうと、変更当日に電源を入れたときに税テーブルの内容が書き換えられます。

税テーブル1～4

税率 0, 0.01 - 99.9999%

税テーブル変更日

変更日 税予約テーブルに設定された内容を有効にする日付を設定します。

[初期設定に戻す] この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。

[確定] この画面の中で行なった設定内容を有効にして、前の画面に戻ります。

[キャンセル] この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

注意!

*課税対象額名称、税金名称、端数処理の設定は予約できません。これらを変更する場合は、予約内容がレジに書き換えられた後で、改めて「税テーブル」設定画面にて設定してください。

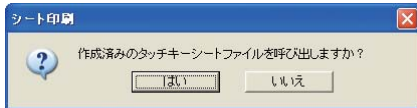
*税タイプには、「税テーブル」で現在設定されている税タイプが予約されます。本設定ツールからは、税タイプを変更する予約はできません。

3.1.17 <シート印刷>

設定データファイルに登録されているキーテーブルの内容を、3枚のタッチキーシートに印刷します。キートップに印刷される「PLU/ 部門/ 取引キー」各項目の名称や背景色、フォントは任意に変更する事ができます。変更された設定は「タッチキーシートファイル」に名前を付けて保存することができます。

◆ 3.1.17.1 タッチキーシートの呼び出し

メインメニューから<シート印刷>をクリックすると、以下の画面が表示されます。



【いいえ】をクリックすると編集中の設定データが反映された、シート印刷画面が表示されます。

作成済みの「タッチキーシートファイル」を呼び出す場合【はい】をクリックします。

ファイルを開く画面から開きたいファイルを選んで【開く】をクリックします。

編集中の設定データ内の名称と、開こうとしているタッチキーシートファイル内の名称が一致しない場合、以下の画面が表示されます。



優先したいデータにチェックを入れ【OK】をクリックします。

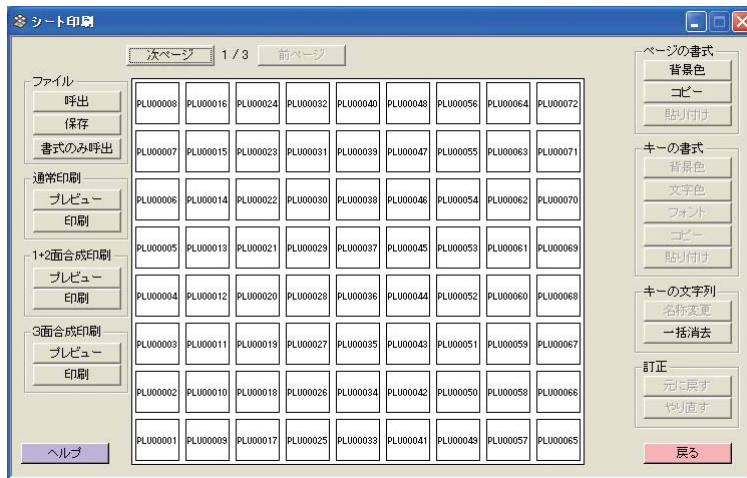
呼び出したファイルの内容が反映されたシート印刷画面が表示されます。

◆ 3.1.17.2 タッチキーシートの編集

各キーはクリックすると選択されます。その際、他のキーの選択は解除されます。

(コントロールキーを押しながらクリックすると、他のキーの選択を解除せずにキーを追加選択する事ができます。)

ダブルクリックすると、そのキーの名称変更画面 (3.1.17.3 の画面) を開き、名称を変更する事ができます。



ファイル

- 【呼出】 保存されているタッチキーシートファイルを呼び出します。
- 【保存】 名前をつけてタッチキーシートファイルを保存します。
- 【書式のみ呼出】 タッチキーシートファイルから書式だけを呼び出します。キー名称などの文字列は呼び出しません。

通常印刷

- 【プレビュー】 印刷のプレビュー画面を表示します。
- 【印刷】 タッチキーシートを印刷します。

1+2 面合成印刷

1面と2面を合成し、1キーを2段に分けて印刷/印刷のプレビュー画面を表示します。

3面合成印刷

1～3面を合成し、1キーを3段に分けて印刷/印刷のプレビュー画面を表示します。

【次ページ】

次のページを表示します。

【前ページ】

前のページを表示します。

ページの書式

- 【背景色】 色の設定画面を表示し、選択されているページの背景色を変更します。
- 【コピー】 ページの書式をコピーします。
- 【貼り付け】 コピーされたページ書式を表示中のページに適用します。

キーの書式

- 【背景色】 色の設定画面を表示し、選択されているキーの背景色を変更します。
- 【文字色】 色の設定画面を表示し、選択されているキーの文字色を変更します。
- 【フォント】 フォント画面を表示し、選択されているキーのフォントを変更します。
- 【コピー】 選択されているキーの書式をコピーします。
- 【貼り付け】 コピーされたキー書式を、選択されているキーに適用します。

キーの文字列

- 【名称変更】 名称変更画面 (3.1.17.3 の画面) を表示し、選択されているキーのタッチキー印刷用名称を変更します。
- 【一括消去】 デフォルトで設定されている「PLU」で始まる商品名を一括して消去します。

訂正

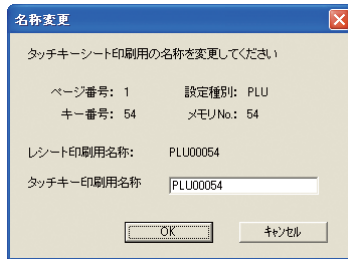
- 【元に戻す】 直前の操作を取り消して、元の状態に戻します。1回のみ有効。
- 【やり直す】 【元に戻す】の実行直後に、再度、直前の操作を実行する。

【戻る】

メインメニューに戻ります。

◆ 3.1.17.3 タッチキーシートの名称変更

タッチキーシート編集画面でキーを選択して[名称変更]をクリックするか、選択したキーをダブルクリックすると、名称変更画面が表示され、選択されたタッチキーの印刷用名称を変更することができます。



◆ 3.1.17.4 タッチキーシートの印刷

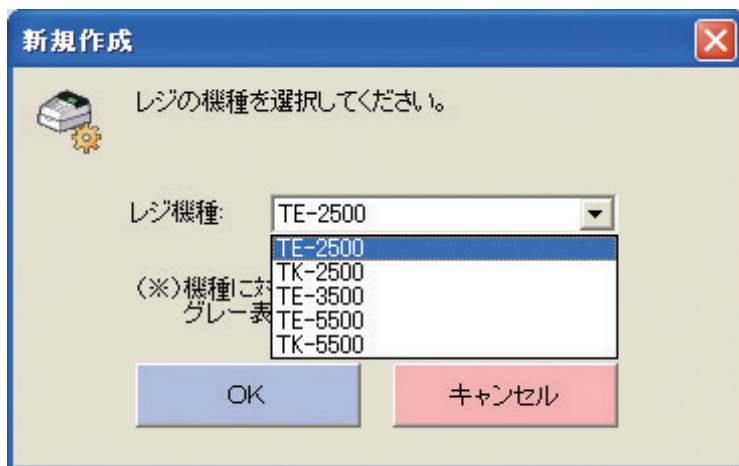
用紙サイズはB4、A4、B5 のいずれかをお使いください。

3.2 <ファイル>

本章では、ネットレジ設定データの作成・保存・呼出、及び外部システムとのデータの受け渡しについて記載します。

3.2.1 <新規作成>

利用するネットレジの機種を選択します。機種を選択して<OK>を押下すると、指定されたネットレジの機種の各初期設定が自動的に作成されます。自動作成後は、各機能（ボタン）を利用して、利用するネットレジの設定を変更します。

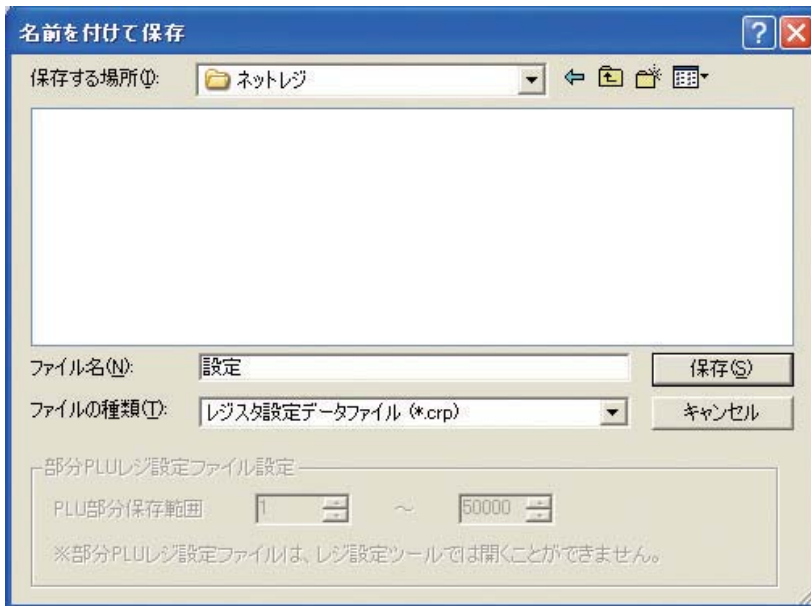


ネットレジの機種により、利用できる機能（ボタン）が異なります。
ネットレジの機種別の利用可能機能は下表の通りです。

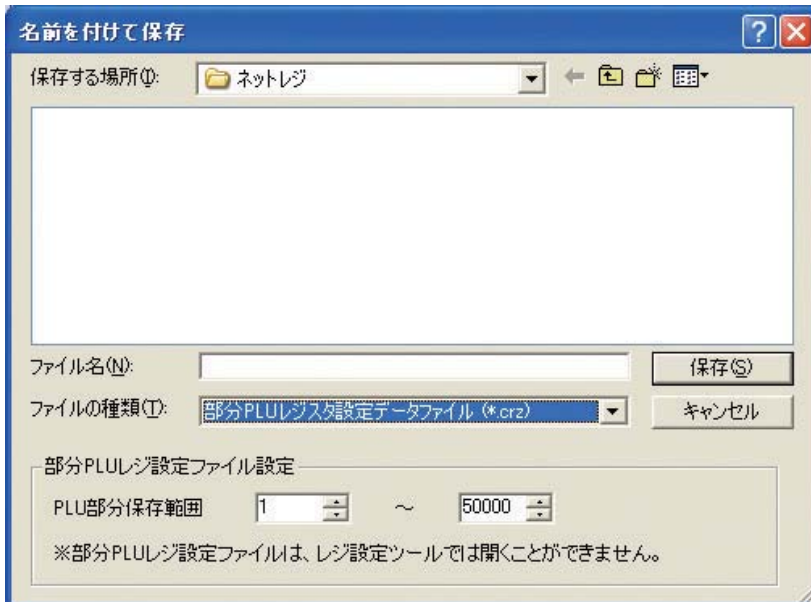
区分	機能（ボタン）名称	TE-2500	TE-3500	TE-5500	TK-2500	TK-5500
商品設定	部門	○	○	○	○	○
	PLU	○	○	○	○	○
	時間帯別アイテム選択			○		○
	スキャンングPLU	○	○	○	○	○
	時間帯別アイテム選択 グループ	○	○	○	○	○
印字設定	レシート/ジャーナル	○	○	○	○	○
	レシートメッセージ	○	○	○	○	○
	領収書	○	○	○	○	○
	点検/精算レポート	○	○	○	○	○
その他設定	レジ担当者	○	○	○	○	○
	客層			○		○
基本設定	全体設定	○	○	○	○	○
	オンライン	○	○	○	○	○
	取引キー	○	○	○	○	○
税金設定	税テーブル	○	○	○	○	○
	税予約テーブル	○	○	○	○	○
タッチキー	シート印刷				○	○
ファイル	開く	○	○	○	○	○
	新規作成	○	○	○	○	○
	名前を付けて保存	○	○	○	○	○
	上書き保存	○	○	○	○	○
	CSV取込み	○	○	○	○	○
	CSV書出し	○	○	○	○	○
	ヘルプ	○	○	○	○	○

3.2.2 <名前を付けて保存>

各機能（ボタン）を利用して、利用するネットレジの設定を変更後、名前を付けてファイルを保存します。保存する場所とファイル名を指定して<保存>ボタンを押下すると、レジスタ設定データファイルが保存されます。このデータは「店舗支援サービス/STORE」のレジ設定管理機能で登録する設定ファイルになります。

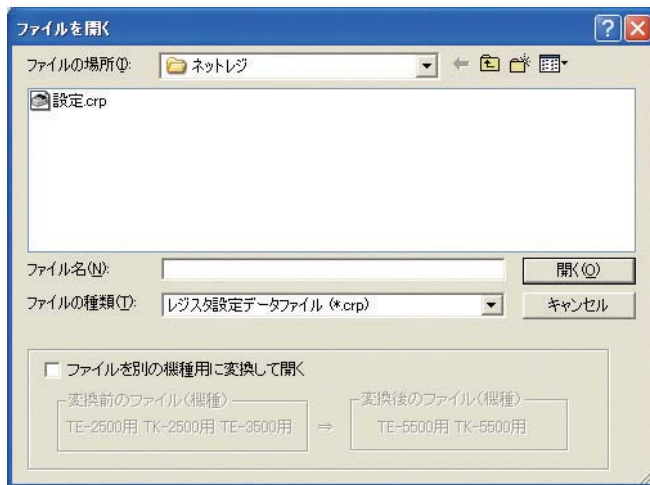


ファイルの種類は、通常は「レジスタ設定データファイル (*.crp)」形式を利用しますが、「部分PLUレジスタ設定データファイル (*.crz)」形式を選択可能です。この形式は設定したPLUの一部分の（連続したレコードNo. で範囲を指定された）データとその他設定データを1つの設定データにまとめて保存します。本機能はレジの機種がTE-5500、TK-5500 を選択されると利用可能になります。



3.2.3 <開く>

保存したレジスタ設定データファイルを開いて、再度、設定編集をする場合に利用します。
ファイルの場所とファイル名を指定して<開く>ボタンを押下すると、レジスタ設定データファイルを読み込みます。



レジ設定ファイルを、別の機種のレジ設定ファイルに変換して読み込むことが可能です。
「ファイルを開く」ダイアログボックス内に、「ファイルを他の機種用に変換して開く」チェックボタンがあります。このチェックボタンにチェックをして「開く」ボタンを押下した場合、ファイルの変換処理を行います。



変換元機種はTE-2500・TK-2500・TE-3500、変換後機種はTE-5500・TK-5500 になります。
変換対象データはPLU・部門・グループ・担当者・全体設定です。
但し、全体設定は「担当者入力する/しない」「PLU 開始番号」のみの移行になります。その他全体設定は再度編集する必要があります。

3.2.4 <上書き保存>

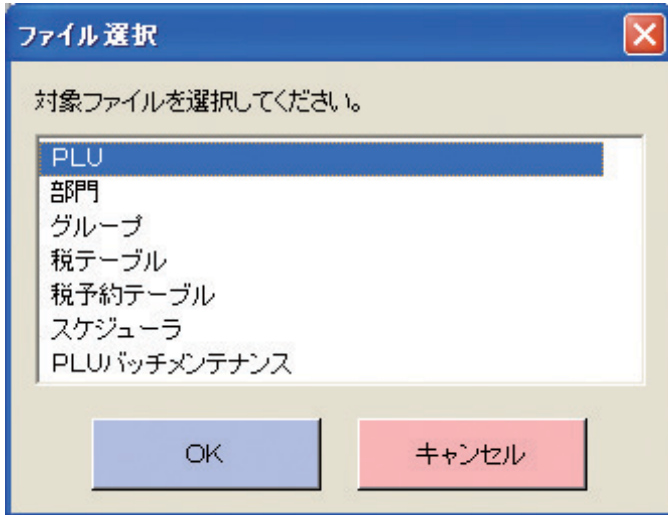
保存したレジスタ設定データファイルを開いて、設定編集後に同じファイルの場所とファイル名で保存する場合に利用します。但し、新規作成後、上書き保存を押下すると、名前を付けて保存と同じ動作になります。

3.2.5 < CSV 取込み >

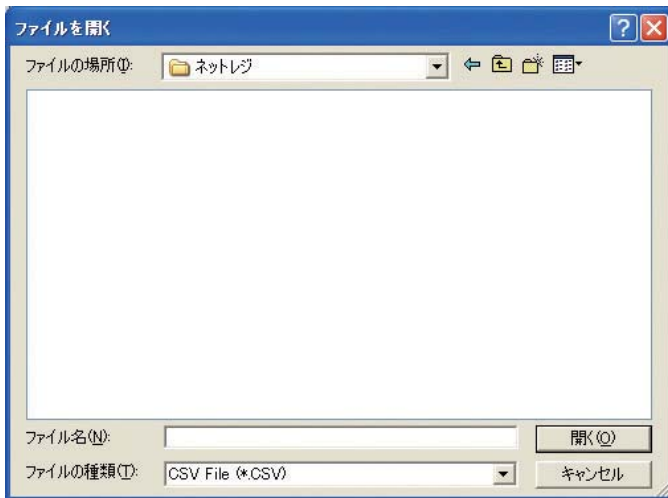
<CSV 取込み>機能は、レジ設定ツールに対してデータを読み込む機能です。対象の設定ファイルに対して設定データを読み込み、レジ設定ツールで編集可能になります。

対象のファイル:

- ・ PLU、部門、グループ
- ・ 税テーブル、税予約テーブル、スケジューラ
- ・ PLUバッチメンテナンス ※TE/TK-5500 指定時に利用可能



対象ファイルを選択して<OK>ボタンを押下します。



ファイルレイアウトについて

固定長のテキスト形式のデータです。レコードNo. 以外はダブルコーテーション “”でデータを囲みます。

<PLU>

- ①レコードNo. :
- ②商品コード (スキャニングコード) :
左詰でチェックデジットがあるものはチェックデジットも入力します。
右側の空きエリアには全てキャラクタの 'E(大文字)'で埋めます。
(例)商品コード 12345678 は "12345678EEEEEE" と入力します。
- ③商品名称: 半角20文字、全角10文字
- ④設定: 消費税等の情報を設定します
- ⑤リンク:
リンク先グループのメモリ番号 (2桁)
リンク先部門のメモリ番号 (2桁)
- ⑥単価: 6桁
- ⑦セットメニューリンク: セットメニュー番号 (2桁)
- ⑧更新日
- ⑨フラグ: 未使用

(データ例)

```
C","n:P0004:"  
"H","26","01","0000","220204","1015","0001","00","00","00000","00000","00000","00000"  
"F","FILE004","P","P","0001"  
00001,"0000000000000000","PLU00001      ","00000000","0099","000000","00","0000","00"  
00002,"0000000000000000","PLU00002      ","00000000","0099","000000","00","0000","00"  
00003,"0000000000000000","PLU00003      ","00000000","0099","000000","00","0000","00"  
00004,"0000000000000000","PLU00004      ","00000000","0099","000000","00","0000","00"  
①          ②          ③          ④          ⑤          ⑥          ⑦          ⑧          ⑨
```

注意: ヘッダ部 (3行) は無くても読み込み可能です。

<部門>

- ①レコードNo. :
- ②部門名称: 半角20文字、全角10文字
- ③設定: 消費税等の情報を設定します
- ④リンク: リンク先グループのメモリ番号(2桁)、未使用(2桁)
- ⑤単価: 6桁

(データ例)

```
"C","n:P0005:"  
"H","26","01","0000","220204","1015","0001","00","00","00000","00000","00000","00000"  
"F","FILE005","P","P","0001"  
00001,"部門01"          "","000000000","0000","0000000"  
00002,"部門02"          "","000000000","0000","0000000"  
00003,"部門03"          "","000000000","0000","0000000"  
00004,"部門04"          "","000000000","0000","0000000"  
①          ②          ③          ④          ⑤
```

注意: ヘッダ部(3行)は無くても読み込み可能です。

<グループ>

- ①レコードNo. :
- ②グループ名称: 半角20文字、全角10文字

(データ例)

```
"C","n:P0006:"  
"H","26","01","0000","220204","1015","0001","00","00","00000","00000","00000","00000"  
"F","FILE006","P","P","0001"  
00001,"グループ01"      "  
00002,"グループ02"      "  
00003,"グループ03"      "  
00004,"グループ04"      "  
①          ②
```

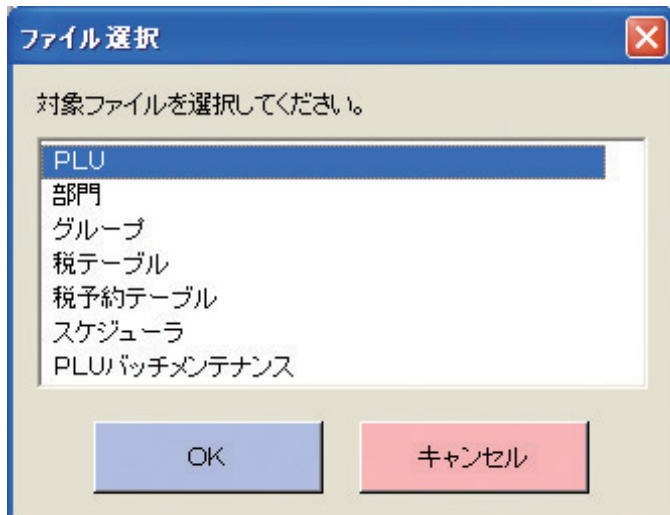
注意: ヘッダ部(3行)は無くても読み込み可能です。

3.2.6 < CSV 書出し >

<CSV 書出し>機能は、レジ設定ツールで編集したデータを書き出す機能です。対象ファイルを選択して出力します。ファイルレイアウトは<CSV 取込み>と同じです。

対象のファイル:

- ・ PLU、部門、グループ
- ・ 税テーブル、税予約テーブル、スケジューラ
- ・ PLUバッチメンテナンス ※TE/TK-5500 指定時に利用可能



対象ファイルを選択して<OK>ボタンを押下します。



名前を指定して<保存>ボタンを押下します。

CXD NEXT
CASIO®